

# おすすめ仕次用泡盛9選

令和6年4月現在

仕次ぎや貯蔵には、アルコール度数の高い泡盛がおすすめです。

しかし、普段目にする泡盛の多くは30度で、仕次用を謳う商品も流通量が少ないため、何を選ぼうか迷う方も多いのではないのでしょうか？

今回、9酒造所からイチオシの仕次用泡盛を教えていただいたので、まずはこれを参考に自分だけの仕次古酒や秘蔵酒を育ててみてはいかがでしょうか。また、ここに掲載していない酒造所も「粗濾過」や「仕次用」などの表示のある商品を出されていますので、それらもお勧めです。

なお、これらの多くは旨味の元でもある油分を多く残すつくり方がなされており、冬場など温度が低くなると白い濁りが出ることがありますが、品質に問題はありません。

おって、仕次ぎを行う際の注意事項については、「目指せ！100年古酒！甕で育てる仕次方法」を参照ください。



## 瑞光



池間酒造有限公司  
アルコール分/44度  
容量/1,800ml

瑞光は、熟成に必要な成分を十分に残すために軽度な濾過で仕上げられています。気温の低下で白い浮遊物が出る場合がありますが、これは高級脂肪酸という泡盛の熟成に必要な成分であり、温度の上昇やピンを強く振ることで消滅します。

人生の節目の慶びを、宮古島で地域に育まれた古酒づくりの源（仕次用）瑞光でお楽しみ下さい。

## 玉友 44



株式会社石川酒造場  
アルコール分/44度  
容量/1,800ml, 600ml

沖縄県内唯一の甕仕込み・甕貯蔵の泡盛を粗濾過で仕上げた逸品です。原料素材そのものの良さを最大限に活かしています。飲みやすいお酒が増える中、その個性的な味わいが高い評価を頂いています。（平成20年全国酒類コンクール第2位）

パーシャルショットまたはソーダで割り、厚切りのレモンを添えて飲む「ドラゴンハイボール」などもおすすめです！

## 神泉 初垂れ 2023年



上原酒造株式会社  
アルコール分/44度  
容量/720ml

毎年、新年初蒸留酒を古酒用に最も適した44度で瓶詰めしております。ろ過を粗めに仕上げ、旨味成分をより多く残し味わい深さを実現。

花やフルーツを感じさせるフレッシュな香りと豊潤な風味で、長期熟成の可能性を目指しました。

毎年更新される新たな神泉をお楽しみください。



# 瑞泉 古酒

瑞泉酒造株式会社  
アルコール分/43度  
容量/1,800ml, 720ml

瑞泉酒造が長年3年以上の古酒を仕次ぎしている「瑞泉古酒43度」。  
甕ならではの芳潤で深いコクとまろやかな味わいが特徴。  
ご自宅にある甕の古酒を味わいながら、その甕に「瑞泉古酒」を仕次ぎして代々受け継ぐのはいかがでしょうか。



# 琉球王朝

株式会社多良川  
アルコール分/44度  
容量/1,800ml

大切に育てた泡盛「琉球王朝」。  
古酒をベースに、最高の味を求めて造りあげました。  
多良川ブランドの中で最も親しまれ、知名度の高い商品です。  
華やかな香りとキレのある飲みくち、凛とした味わいの逸品。



# 忠孝 原酒

忠孝酒造株式会社  
アルコール分/44度  
容量/1,800ml, 720ml

沖縄県産のマンゴーから発見された新種の酵母を用いて造られ、濃厚な甘みと豊かな風味を持ち合わせています。  
従来の泡盛酵母と比較して約10倍の4-VGを生成し、熟成を経ることで4-VGがバニリンへと変わるため、バニラのような甘美な香りに変化する、魅力溢れる泡盛です。  
熟成が進むにつれて、香りや味わいの変化を楽しむことができる点も特徴です。



# 今帰仁の新酒

有限会社今帰仁酒造  
アルコール分/44度  
容量/1,800ml

原酒です。アルコール度数が高く、熟成させると甘くまろやかに変化するので、古酒造りや仕次ぎ用にオススメです。  
また、そのまま一般酒として飲むと、力強い香りを感じることができます。  
公式通販サイトからも購入できます。  
<https://nakijinshuzo.jp/shop/products/detail/47>



# 華翁 家庭用

株式会社宮の華  
アルコール分/35度  
容量/1,800ml

甘口で、35度を感じさせないまろやかさと、のど越しの柔らかさを味わえる泡盛です。  
家庭用華翁は資材や包材を見直したシンプル版となります。甕の継ぎ足し用や仕次ぎにおすすめてです。  
オンラインショップにて販売中。



# さんご礁 新酒

有限会社山川酒造  
アルコール分/43度  
容量/1,800ml

山川酒造の若い酒で蒸留年を明記した新酒の43度一升瓶。(毎年蒸留年・ヴィンテージは更新されます)  
ご自宅で甕の仕次ぎ用としてもおなじみのアイテムで、泡盛は瓶でも熟成することから、蒸留年表記が貯蔵・経過年数の明確となりおすすめてです。  
※画像はイメージです。